



選挙に行って、投票しよう！～主権者教育～

10日（金）の総合・LHでは、高知県選挙管理委員会の中平さんを講師に招き、「主権者教育」を行い、講演を聞いた後模擬投票を行いました。

講演では、はじめに、選挙管理委員会は選挙に関してどんなことをしているのか、18歳選挙権は世界的な流れに沿ったもので、未来の日本を担う世代への期待から平成27年に導入されたが、平成28年の参議院選挙における18・19才の投票率が22.05%と投票率は70代の半分以上で、



パワーポイントを使い分かり易い説明をする中平さん

5人に3人が「投票を棄権」したこと、選挙は衆議院議員・参議院議員を選ぶ国政選挙と知事や市町村長を選ぶ地方選挙があることなどを紹介してくれました。

引き続いて、①投票のしくみと②投票のルールについて説明していただいた後、③社会参画で模擬投票を行いました。

①では、投票の原則は「一人一票」で「投票所」で投票を行う、投票できる人には「投票所入場券」が送られてくる、「選挙人名簿」への登録要件（日本国民である、満18歳以上である、引き続き3ヶ月以上登録する市町村に住んでいる）が必要である、投票時間は7時～20時で投票場所は自宅近くの学校や公民館である、ことなどを説明していただきました。



②では、選挙の期間、選挙運動期間にできること（個々面接、電話による投票依頼、ウェブサイト等を利用した候補者の応援）・できないこと（戸別訪問、電子メールの利用、文書図画の頒布や掲示）、選挙運動が禁止されている人、地位を利用した選挙運動は禁止されている、選挙でのアルバイトは自発的に無報酬（交通費やお弁当代は受け取れる）で行うこと、などを説明していただきました。



①と②の説明後、高岡高校定時制版「高知県知事選挙」の模擬投票を行いました。

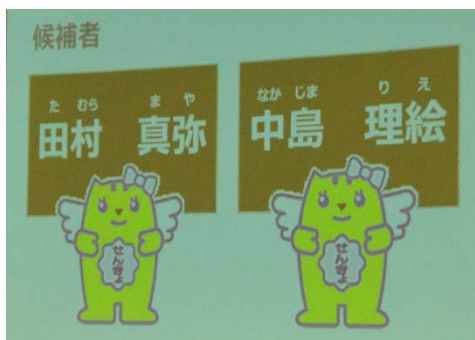
立候補したのは「田村真弥」と「中島理絵」さんの2人。田村さんは「安心できる高知に」、中島さんは「高知に活力を！！」をスローガンに選挙演説を行いました。



立候補者した田村さん(左)と中島さん(右)

有権者である他の生徒は、中平さんが用意してくれた模擬選挙用の選挙公報を見ながら、二人の選挙演説を聞きました。

立候補者を含め生徒全員が投票した結果、10票を獲得した田村さんが当選しました。



投票時に立候補者名が明示される



投票の様子(左)と 開票作業(右:本当の選挙では、立候補者は開票作業をしません)

結果が発表された後、中平さんから「獲得票数が同じだった場合どうするか？」とのクイズが出され、「ジャンケン、くじ引き、再選挙」の3択が提示されました。ほとんどの生徒が正解の「くじ引き」を選びました。続いて、「なぜ再選挙をしないのか？」との問いがあり、「選挙にはお金がかかる（県知事 5.9 億円、県議会 4.6 億円、衆議院 5.4 億円、参議院 4.9 億円、高知市長 7000 万円）から、との説明がありました。また、投票用紙の3つの秘密（折ってもすぐ開く、破れにくい、水に弱い）についても触れていただき、講話を終えました。

「投票」だけが民主主義ではありませんが、民主主義を保障する大切な手続きが「投票」です。民主主義にはお金がかかります。この費用をムダにしないためにも、「投票」することは大切です。これからいろんな選挙で投票する機会があります、その時はぜひ投票所に出向いて、あなたの大切な1票を投じてほしいです。